



野長瀬晩花自画像
(スクラップブックより)

没後50年 野長瀬晩花展

2014年9月13日(土) - 12月7日(日)

およその展示順により、作品名、制作年、技法・材質、寸法(イメージサイズ/cm)、所蔵を記載しています。◇は個人蔵です。特に表記のない作品は当館所蔵です。都合により、出品作品を変更する場合があります。

第一章 熱き青春時代—モダン&デカダンの画家

1	野長瀬晩花《十六羅漢図》	1904 (明治37)	顔料、紙	117.0×58.5
2	野長瀬晩花《美人》	明治30年代後半	顔料、紙	39.4×27.9
(参考)	中川蘆月《美人》	明治時代	顔料、紙	109.5×36.0
3	野長瀬晩花《牡丹》	1903 (明治36)	頃 墨、紙	31.4×33.9
4	野長瀬晩花《ムササビ》	明治30年代後半	顔料、紙	39.6×27.7
5	野長瀬晩花《鯉》	明治30年代後半	顔料、紙	54.5×27.9
6	野長瀬晩花《黄石公張良図(上田公長縮図)》	1907 (明治40)	顔料、紙	40.5×28.7
7	野長瀬晩花《鶏図(円山応挙写し)》	1906 (明治39)	顔料、紙	55.0×47.8
8	野長瀬晩花《静御前(菊池容斎写し)》	明治後期	顔料、紙	55.5×39.4
9	野長瀬晩花『写生帖』	1907 (明治40)	顔料など、紙(冊子)	49.0×39.0
10	野長瀬晩花『写生集』	明治後期	墨など、紙(冊子)	24.5×17.0
11	野長瀬晩花『写生練習帖 第二号』	1909 (明治42)	顔料など、紙(冊子)	27.8×20.0
12	野長瀬晩花《梅に菜花》	1907 (明治40)	顔料、紙	39.6×27.9
13	野長瀬晩花《近露にて》	明治後期	顔料、紙	24.3×33.7
14	野長瀬晩花《赤染衛門(谷口香嶠写し)》	明治40年代	顔料、紙	39.4×28.0
15	野長瀬晩花《観桜図》	明治後期	墨、紙	51.5×26.5
16	野長瀬晩花《周防内侍》	明治後期	墨、紙	54.3×39.5
17	野長瀬晩花《宗良親王(猪飼嘯谷写し)》	明治40年代	墨、紙	81.4×39.1
(参考)	谷口香嶠《漁婦と子》	大正初期	顔料、絹	132.3×162.5 ◇

(参考)	谷口香嶠《高士之図》	大正初期	顔料、紙	49.8×58.0	◇
18	野長瀬晩花《後姿》	1913 (大正2) 頃	顔料、紙	40.2×28.0	
19	野長瀬晩花《夕涼み》	1913 (大正2) 頃	顔料、紙		
20	野長瀬晩花《洋装の子供たち》	制作年不詳	ペン、顔料、紙	30.7×24.6	
	資料①『黙鐘』第1巻第6号	1915 (大正4)	本		
	資料②『黙鐘』第1巻第7号	1915 (大正4)	本		
	資料③「パンカ作品展覧会」パンフレット	1916 (大正5)	印刷、紙		
(参考)	秦テルヲ《安来節の女たち》	1916 (大正5) 頃	顔料、寒冷紗	121.5×40.5	
(参考)	秦テルヲ《吉原の女》	1916 (大正5) 頃	顔料、寒冷紗	135.5×45.1	
21	野長瀬晩花《被布着たる少女》	1911 (明治44)	顔料、絹	114.1×134.8	
22	野長瀬晩花《初夏》	1912 (明治45)	顔料、絹	110.2×41.8	
23	野長瀬晩花《舞妓図》	1916 (大正5) 頃	顔料、絹	133.4×30.8	
24	野長瀬晩花《大原女と舞妓》	1916 (大正5) 頃	顔料、紙	137.2×33.8	
25	野長瀬晩花《門づけ》	1916 (大正5)	顔料、紙	131.5×30.0	
26	野長瀬晩花《渡し場の夕》	大正初期	顔料、紙	128.5×29.6	
27	野長瀬晩花《島の女》	1916 (大正5) 頃	顔料、絹	145.1×51.7	
28	野長瀬晩花《秋の頃》	1917 (大正6) 頃	顔料、紙	165.4×183.0	田中明里子氏寄贈
29	野長瀬晩花《三味線を弾く女》	1917 (大正6) 頃	顔料、絹	136.1×127.0	
30	野長瀬晩花《女奇術師》	制作年不詳	顔料、紙	129.3×30.3	
31	野長瀬晩花《風景》	大正時代	顔料、紙	18.0×21.0	
32	野長瀬晩花《風景》	大正時代	顔料、絹	21.0×18.2	
33	野長瀬晩花《猫と子ども》	制作年不詳	顔料、紙	21.2×18.2	
34	野長瀬晩花《幼き日》	制作年不詳	顔料、紙	39.0×27.0	

第二章 国画創作協会結成—京都画壇の前衛として

35	野長瀬晩花《お馬鹿の道行》	1917 (大正6)	墨、紙	21.5×27.9	
36	野長瀬晩花《初夏の流れ 素描》	1918 (大正7) 頃	鉛筆、紙	15.4×46.9	
37	野長瀬晩花『スケッチブック(芸妓など)』	1918 (大正7) 頃	鉛筆、紙 (冊子)	25.4×46.0	
	資料④『国画創作協会第一回展覧会画集』	1920 (大正9)	本		
	資料⑤『国画創作協会第二回展覧会画集』	1920 (大正9)	本		
	資料⑥『制作』第1巻第12号	1919 (大正8)	本		
	資料⑦『制作』第2巻第2号	1920 (大正9)	本		
	資料⑧『制作』第2巻第10号	1920 (大正9)	本		
38	野長瀬晩花《果物籠をもてるタヒテイの女(ゴーギャン模写)》	大正時代	鉛筆、紙	27.7×20.0	
39	野長瀬晩花《オラナ・マリヤ(ゴーギャン模写)》	大正時代	鉛筆、顔料、紙	27.6×20.0	
40	野長瀬晩花《タヒテイ(ゴーギャン模写)》	大正時代	鉛筆、紙	20.0×27.8	

41	野長瀬晩花《桜の頃》	1918 (大正7) 頃	顔料、絹	131.5×41.3	
42	野長瀬晩花《島の春》	1919 (大正8) 頃	顔料、絹	33.6×42.0	
43	野長瀬晩花《春夏秋冬》	1919 (大正8)	顔料、紙	各129.4×27.2	
44	野長瀬晩花《さみだれのころ》	1920 (大正9)	顔料、絹	154.5×51.0	
45	野長瀬晩花《早春賦》	1920 (大正9) 頃	顔料、絹	130.9×41.5	
46	野長瀬晩花《夕日に帰る漁夫 下絵》	1920 (大正9)	木炭、顔料、紙	169.4×360.5	野長瀬婉子氏寄贈
47	野長瀬晩花《夕日に帰る漁夫 画稿》	1920 (大正9)	顔料、紙	27.0×65.0	
48	野長瀬晩花《漁夫素描》	1920 (大正9) 頃	鉛筆、顔料、紙	38.3×29.2	
49	野長瀬晩花《漁夫素描》	1920 (大正9) 頃	鉛筆、顔料、紙	29.2×38.3	
50	野長瀬晩花《漁夫素描》	1920 (大正9) 頃	鉛筆、顔料、紙	38.3×29.3	
51	野長瀬晩花《漁夫素描》	1920 (大正9) 頃	鉛筆、顔料、紙	38.3×29.2	
	資料⑨野長瀬晩花 自筆原稿	1920 (大正9) 頃	ペン、紙		
	資料⑩野長瀬晩花 漁夫スナップ写真	1920 (大正9) 頃	写真		
	資料⑪野長瀬晩花 絵葉書アルバム	不詳	印刷、紙		(冊子)

第三章 憧れのヨーロッパ渡欧で得たもの

52	野長瀬晩花《スペインの田舎の子供》	1924 (大正13)	顔料、寒冷紗	103.1×135.6	原浩吉郎氏寄贈
53	野長瀬晩花《水汲みにゆく女 画稿》	1925 (大正14)	顔料、紙	53.4×55.1	
54	野長瀬晩花《海近き町の舞妓 画稿》	1927 (昭和2)	鉛筆、顔料、紙	30.6×47.2	
	資料⑫野長瀬晩花『Lelivre journal (滞欧日記)』	1921 (大正10)	ペン、紙		(冊子)
	資料⑬野長瀬晩花『その日その日 (滞欧日記)』	1922 (大正11)	ペン、紙		(冊子)
	資料⑭野長瀬晩花『パリからスペインイギリスへ (滞欧日記)』	1922 (大正11)	ペン、紙		(冊子)
	資料⑮野長瀬晩花 野長瀬婉子宛て絵葉書	1921 (大正10)	印刷、ペン、紙		
	資料⑯野長瀬晩花 野長瀬婉子宛て絵葉書	1922 (大正11)	印刷、ペン、紙		
55	野長瀬晩花『スケッチブック (自画像など)』	1921~1922 (大正10~11) 頃	鉛筆など、紙	19.5×12.2	(冊子)
56	野長瀬晩花『スケッチブック (踊り子など)』	1921~1922 (大正10~11) 頃	顔料など、紙	20.0×25.2	(冊子)
57	野長瀬晩花『スケッチブック (ヴェルダン風景など)』	1922 (大正11) 頃	顔料など、紙	33.2×27.8	(冊子)

58	野長瀬晩花『スケッチブック（西洋婦人など）』	1921～1922（大正10～11）頃	鉛筆など、紙（冊子）	45.0×30.5	
59	野長瀬晩花《裸婦素描》	1922（大正11）頃	鉛筆、顔料、紙	62.0×46.0	
60	野長瀬晩花《裸婦素描》	1922（大正11）	コンテ、チョーク、紙	48.0×31.5	
61	野長瀬晩花《裸婦素描》	1922（大正11）頃	顔料、紙	31.7×48.0	
62	野長瀬晩花《裸婦素描》	1922（大正11）頃	顔料、紙	31.7×48.0	
63	野長瀬晩花《少年像》	1922（大正11）	油彩、キャンバス	85.5×46.3	木崎みさを氏寄贈
64	野長瀬晩花《少女像》	1923（大正12）	顔料、紙	77.8×43.4	
65	野長瀬晩花《少女像》	1923（大正12）頃	墨、紙	63.6×49.5	木崎みさを氏寄贈

第四章 国画創作協会解散後—“創造に対して失望は禁物”

66	野長瀬晩花《路傍青物市》	1932（昭和7）頃	顔料、紙	27.2×48.2	野長瀬婉子氏寄贈
67	野長瀬晩花『北満国境線を描く』	1936（昭和11）	本		
68	野長瀬晩花『一茶遺跡と四季句集』	1942（昭和17）頃	画帖	23.7×33.0	
69	野長瀬晩花《五月の庭》	1956（昭和31）	顔料、紙	103.1×163.2	坂勘三氏寄贈
70	野長瀬晩花《夢ばかり見てゐる男》	1950（昭和25）	顔料、紙	48.3×36.2	